

平成28年11月21日

広島信用金庫

## 平成28年度 上半期業績 について

広島信用金庫（理事長 武田龍雄）の平成28年度上半期業績につきまして、下記のとおり、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 平成28年度 上半期業績概要

##### (1) 業容について

預 金	1,321,812百万円	（前期比 24,441百万円増 1.8%増）
貸 出 金	889,002百万円	（前期比 11,643百万円増 1.3%増）

預金は、内容の充実を第一に、地域に密着した営業活動を推進してまいりました結果、28年3月末比 244億円増加し、1兆3,218億円となりました。

貸出金は、地域の皆様の資金ニーズに積極的にお応えしてまいりました結果、28年3月末比 116億円増加し、8,890億円となりました。

##### (2) 利益について

経 常 収 益	11,438百万円	（前年同期比 714百万円減 5.8%減）
業 務 純 益	2,439百万円	（前年同期比 537百万円減 18.0%減）
コア業務純益	2,436百万円	（前年同期比 604百万円減 19.8%減）
経 常 利 益	2,653百万円	（前年同期比 394百万円減 12.9%減）
当 期 純 利 益	2,357百万円	（前年同期比 263百万円増 12.5%増）

貸出金、余裕金等の運用利回りの低下を主要因に、コア業務純益は、前年同期比6億4百万円減益の24億36百万円となりました。

一方、事業再生支援への取組みにより、貸倒引当金が戻入となったこと等により、経常利益は26億53百万円、最終利益である当期純利益は、前年同期比2億63百万円増益の23億57百万円となりました。

(3) 不良債権の処理状況について

厳格な自己査定にもとづき不良債権処理を行いました結果、28年度上半期における不良債権処理額は、1億95百万円（前年同期比31百万円減）となりました。

(4) 金融再生法による開示債権について

(金額単位：百万円)

	開示額 ①	担保・保証等 ②	貸倒引当金 ③	保全率 (②+③) / ①
破産更生債権等	4,122	1,184	2,937	100.0%
危険債権	22,407	12,953	5,219	81.1%
要管理債権	1,199	449	198	54.0%
小計	27,729	14,587	8,355	82.7%
正常債権	865,807			
合計	893,537			

金融再生法上の不良債権額は、277億29百万円（28年3月末比16億68百万円減、5.6%減）、不良債権比率は、28年3月末比0.23ポイント改善の3.10%となりました。なお、不良債権額のうち82.7%は、担保・保証および貸倒引当金により保全がはかられております。

(5) 自己資本比率（国内基準）について

自己資本総額	92,714 百万円
コア資本に係る基礎項目	93,597 百万円
コア資本に係る調整項目	883 百万円
リスクアセット	772,690 百万円
自己資本比率	11.99%

自己資本比率は、28年3月末比0.05ポイント上昇し11.99%となり、国内基準の4.0%を大きく上回っております。

(6) 平成28年度決算予想（平成29年3月期予想）

・経常利益	53 億円程度	・当期純利益	38 億円程度
・自己資本比率	11 %台	・不良債権比率	3 %台

[お問い合わせ先] 経営企画部 広報室 TEL 082(245)0030